

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行
氏名	須田恭平
クラス	C
学籍番号	1018097
プロジェクトの目標および成果物とそれにより得られた結果や効果について書いてください。（自由記述, 200 文字以上）	未来大発の店員ロボットを作ることをプロジェクト全体の目標とし、私の所属したグループではシンプルな仕組みで効果的なロボット型インタフェースを実現することを目標に活動を行ってきました。その成果物として、昨年度のプロジェクトで作成されたロボットよりも、ロボットに話しかけた際に少ないタイムラグで素早くロボット本体を動作できるロボットが得られました。このロボットを用いて利用者に使用した感想などを収集する必要がありましたが、報告書作成の時点でロボットの作成までしか完了できませんでした。
その中であなたが貢献したことを具体的に書いてください（自由記述 200 文字以上）	これらの中で私が貢献したことは、グループのリーダーとしてはプロジェクトリーダーへの作業進捗度を連絡、いつまでにどのような作業を誰が行うかといったグループ内のタスク管理、デザイン案などの話し合った意見のとりまとめなどを行いました。できる限り問題が起こらないようにスケジュールの作成や修正を行った結果、ロボットの完成まで到達することができました。作業面では、主にロボット内部のモーターの配置と音声認識システムとの連携を行う Arduino を使った部分を担当しました。その中でつまづいた点はプロジェクトのメンバーなどに相談し、なるべく早く解決できるようにしました。また、解決できた問題はなるべく全体に共有するように心がけました。

グループのなかでの自分の役割について	責任と権限がある程度決まっていた
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
自分の所属するプロジェクトの難易度について	比較的難しかった
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
前期の活動終了時の学習目標を選択してください。(複数回答可)	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 報告書作成方法; 学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記の目標達成のために、どのようなことを行いましたか。(自由記述 200 文字以上)	上記の目標を達成するために様々なことを実践しました。1 つ目に、プロジェクトの進め方を学び実践するために 6 月中旬に実施されたアジャイル開発プロセス体験ワークショップに参加し、開発手法を学びました。2 つ目に、複数のメンバーで行う共同作業の際には作業進捗度をリスト化してまとめ、他の作業をしている人が今どの程度まで作業を行えているか可視化できるようにしました。3 つ目に、報告書の作成方法では、昨年度のプロジェクト報告書を見て参考にしながら章立てを行いました。また、初めて使った LaTeX ではほかのグループの作成方法を見ながら作成することで、報告書や今後作成する論文の作成ツールについての理解が深まりました。最後に、コミュニケーションをとるために、なるべく自分の意見やつまづいた部分をアウトプットしたり、他の人から出てきた内容に反応するように心がけました。
その結果、プロジェクト学習で習得できたことは何ですか。(複数回答可)	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 報告書作成方法

上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
その結果、プロジェクト学習で <u>習得できなかったこと</u> は何ですか。（複数回答可）	学生同士でのコミュニケーション；教員とのコミュニケーション
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
習得できなかった理由は何ですか。（自由記述 200 文字以上）	私は学生同士・教員とのコミュニケーションが不足し、習得できなかったと感じています。前期の段階ではコミュニケーションを行うために積極的に疑問点を投げかけたりしましたが、後期からはロボットの作成やプログラムの作成など個人で行う作業が少なくなりコミュニケーションをとる機会が失われていました。しかし、そのような中でも技術的な面では互いに共有することでより円滑に開発が進められたと考えています。これからは個人の作業でこそ一人で解決しようとせずに周りに状況を発信することが大事だと考え、実践していこうと考えています。
卒業研究や今後の成長のためにあなたにとって特に必要なことは何ですか。（複数回答可）	研究の進め方；学生同士でのコミュニケーション；教員とのコミュニケーション；技術・知識の習得方法；技術・知識の応用方法；課題の設定方法；課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記のことが必要な理由は何ですか？（自由記述. 200 字以上）	研究を進めていく上で特に必要なことは研究の進め方とコミュニケーションをとることだと思います。研究を進める上で過去の研究を知ることは必須であり、その技術・知識を習得してから自身の研究を行う必要があると考えています。また、課題を設定することで行おうとしている研究の目標をはっきりさせることができるため、研究を進めていく上で必要です。以上のことを 1 人で行うのは効率が悪いいため、学生同士でのコミュニケーションをとることで新しい考えを得ること

	ができたり、教員と相談することで研究の計画に問題がないかなどを確認できると考えています。これらのことから上記のことが重要だと考えました。
プロジェクト学習と今までに受けた講義・演習との関連の有無について	3つ以上の講義・演習と関連があった
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
グループ内での作業分量の割り当てについて.	ほぼ公平に割り当てられていた
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
通常の講義・演習と比較して、プロジェクト学習の意義の有無について(Q27)	プロジェクト学習の意義があった
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
Q27 の意義について、答えを選んだ理由となる項目を選択してください。(複数回答可)	グループ内での自分の役割; 自分の所属するプロジェクトの難易度; プロジェクト学習と今までに受けた講義・演習との関連の有無; 通常の活動時の教員の指導の有無
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
自分の所属するプロジェクト(グループ)の活動に対する満足度について. (Q31)	満足
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
Q31 の満足度の理由として考えられる項目を選択してください。(複数回答可)	グループ内での自分の役割; プロジェクト学習で習得した方法; プロジェクト学習と今までに受けた講義・演習との関連の有無
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください	
グループメンバーと協働することにより、課題を見出し、解決できる	できる
活動を成功させるために必要な努力をする自信がある	できる

証拠に基づいて意見を述べることができる	あまりできない
自分で行った結果に対して責任を持つことができる	できる
収集した情報を体系的に整理し、活用することができる	できる
さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる	できる
活動の中で壁に直面したり、競争のプレッシャーがあっても、目標の達成に向けてやり抜くことができる	できる
読み手や目的に合わせて、正確にわかりやすい文章を書くことができる	できる
自分とは異なる意見が提示された際、冷静に分析し、自分の考え方を再考したり修正したりできる	よくできる
グループのメンバーの状況を理解し、支援する	できる
どのような状況においても意欲的に活動に取り組むことができる	よくできる
さまざまな情報源から必要な情報を効率的に探すことができる	よくできる
プライバシーや文化の差異に配慮して、責任をもって注意深くインターネット環境を利用できる	よくできる
守秘業務、プライバシー、知的所有権に配慮しながら、身近な問題を解決するために、正確かつ創造的に ICT を利用できる	よくで k
他人に関心を寄せ、他人を尊重することができる	まあまあできる
グループが目指す成果に到達するために優先順位をつけ、計画を立て、運営できる	できる

正しい文法・語彙を使って話したり、書いたりできる	あまりできない
社会で一般に容認・推進されている行動規範にしたがって行動できる	よくできる
他者を信頼し、共感することができる	まあまあできる
活動を粘り強く行うために必要な集中力がある	できる
情報を批判的かつ入念に検討し、評価できる	よくできる
あなたは前期のプロジェクト学習に意欲的に取り組みましたか？	意欲的だった
前期の活動を行ったことにより、あなたはプロジェクト学習の内容に興味を持てるようになりましたか？	興味を持てた
前期のプロジェクト学習の活動は、あなたの今後に役立つと思いますか？	まあまあ役に立つ
今後、同じようプロジェクトを行うことになったら、もっとうまくやれる自信がありますか？	自信がある
前期のプロジェクト学習の活動に満足していますか？	まあまあ満足している